

MyStars 通信

No.39

June 2014

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』39号ができましたのでお送りします。2014年4月末現在の登録者数は9225名です。。



怪鳥オロロン現る。日本海沿岸の国道は、通称“日本海オロロンライン”と呼ばれています。初山別村の隣にある羽幌町の沖にある天売島は、ウミガラス（オロロン鳥）の国内唯一の繁殖地として知られていますが、この国道沿いにオロロン鳥の像があります。この像は高さが3メートルほどありますが、本物のオロロン鳥（左写真）はカラスより小さく、ペンギンに似た姿

をしています。像は羽幌町内に2体、天売島と焼尻島にそれぞれ1体ずつあります。

この画像のオロロン鳥は羽幌町の北、旧光洋小学校の近くにあり、星空を背景に写してみました。オロロン鳥の左にあるゆがんだ四角形の並びがカラス座、その左に光る星はおとめ座のスピカです。なお、からす座の登録者数は6名（件）です。

綺羅星・星座ガイド

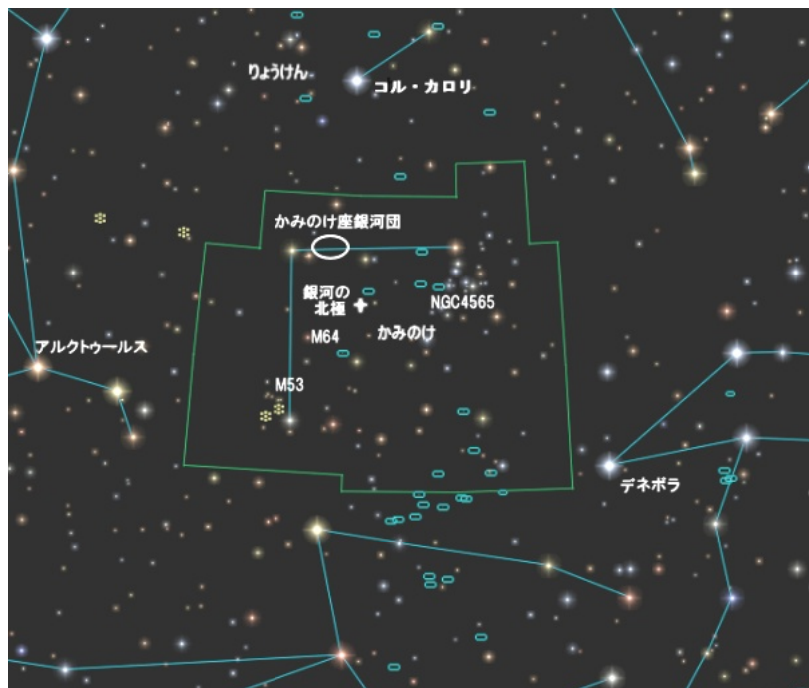
かみのけ座

かみのけ座はおとめ座の北にある星座で、星がごちゃごちゃ集まっているだけで、かみの毛を連想するのは難しいでしょう。体の一部が星座になったものは、この“かみのけ”だけです。

ギリシャ神話によると、髪の毛の持ち主はエジプト王エウエルゲティの妃ベレニケ王妃で、琥珀色をした世界一美しい髪だったそうです。ある時、王はアッシリア軍との戦いに出かけることになりました。

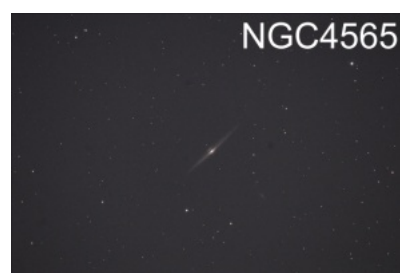
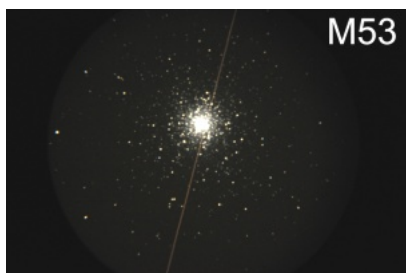
ベレニケは、美と愛の女神アフロディーテに『もし夫が無事に帰ることができれば、大事なこの髪をささげましょう』と約束しました。やがてエジプト軍は大勝利で帰還し、ベレニケ王妃は約束どおり髪を切り女神にささげたということです。王を思う妃の姿に感銘した大神ゼウスは、この“かみのけ”を天に上げ星座にしたということです。

かみのけの姿を星空から探すのは難しく、しし座のデネボラとりょうけん座のコル・カロリ



の間にある、星がごちゃごちゃ集まった部分がかみのけ座の中心です。

かみのけ座は天文学上重要な位置にあります。それはこの星座に銀河系の北極点があることです。北極点は天の川から最も離れた位置にあるため、星の数（密度）が少なく遠くが見通せるのです。つまり、より遠くの宇宙が見られるのです。かみのけ座の北東部には“かみのけ座銀河団”とよばれる2億光年彼方の銀河の集団があります。これは2億年前の銀河を見ていることになりますが、2億年前と言うと、地球では恐竜が誕生した初めのころと言うことになりますね。この銀河団は遠くにあるため大きな望遠鏡でもかすかな光のシミが見えるだけで、あまり楽しいものではありません。もう少し楽しめそうなものが星の集まりである球状星団M53と、黒眼銀河M64、紡錘状銀河NGC4565です。M53は小型の望遠鏡では丸いシミのようですが、大きな望遠鏡では星が丸く密集して見えます。M64は楕円形に見える銀河ですが、よく見ると中心近くに暗いスジが見えます。これは



巨大な暗黒星雲が見えているのです。NGC4565は銀河を真横から見た姿で、まっすぐに伸びた銀河のまん中がプクッと膨らんだ姿がわかります。

ケンタウルス座

春の星座で、おとめ座の南にあります。大変大きな星座で星座の面積は88星座中3番目です。また、肉眼で見える星の数は一番多く193個もあります。星座の位置が南にあるため日本国内からは星座全体を見ることができません。さらに北に位置する初山別からは上半分しか見えず、低空の霞や街明かりなどのため見る機会の少ない星座です。

ギリシャ神話では、上半身が人、下半身が馬と言う半人半獣ケンタウルス族の一人フォー



ローの姿です。ケンタウルス族は神を冒瀆し、戦争を好む野蛮な一族でしたが、ケイローン（いて座）やフォーローのように人間とも仲良くする心優しい馬人もいました。

ケンタウルス座は、その面積が大きいため興味深い天体が数多くあります。ケンタウルスの足下にあるアルファ星リギルケンタウルスは、太陽系に最も近い星で距離はわずか4.3光年です。この星は太陽

によく似た星ですが、0.3等と1.7等の二つの星が約80年の周期で回る連星です。さらに1万6000年の周期で回る11等星の星（プロキシマ）があり、リギルケンタウルスは太陽が3つある星ということになります。なお、プロキシマは現在4.15光年の距離にあり、最も太陽系に近い星ということになります。リギルケンタウルスの隣にあるハダルも1等星ですが、リギルケンタウルスの100倍も遠くにある星で、実態は非常に明るく輝く青色の巨星ということになります。この二つの1等星は沖縄で見ることができます。

ケンタウルス座の真ん中あたりに（オメガ）星団があります。かみのけ座のM53のよう



な球状星団の一つで、見かけの大きさが満月の2倍もあり、肉眼でもぼんやりとした塊に見えます。東京あたりでは地平線から7度くらいの高さですが、初山別では地平線下になるので見ることはできません。小口径の望遠鏡でもぶつぶつした姿が見えますから、南の地方にお住まいの方はご覧になってみてはいかがでしょうか。星団の上にNGC5128という銀河があります。強い電波を出す天体で、望遠鏡で丸く見えるでしょう。

りゅう座

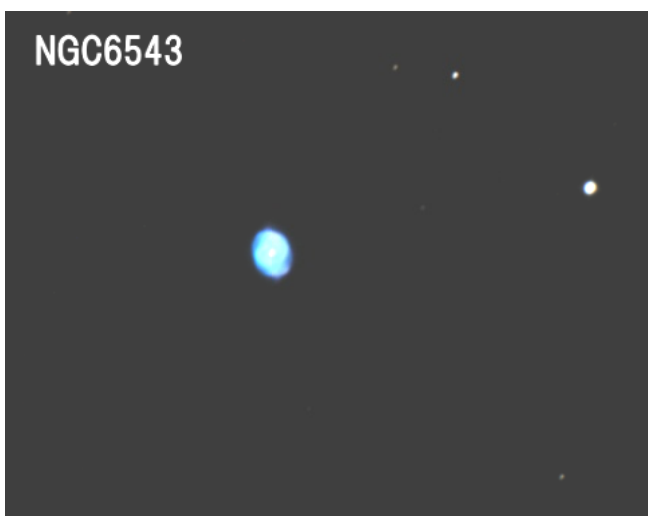


北極星を取り巻くようにある星座で、1年中沈むことがなくいつでも見られます。

竜は架空の動物ですが、世界中に神話や伝説が残されています。ギリシャ神話では女神ヘーラの黄金のリンゴの木を守る、口から火を吐く竜だったり、軍神アーレスの神聖な泉を守る竜だったりします。あちこち守っていたんですね。

りゅう座にはこれといって特に目立つ星はありませんが、流星群が二つあります。一つは毎年1月4日の明け方に見られる“しぶんぎ座流星群”です。しぶんぎ座という星座は今はありませんが、昔、りゅう座とうしかい座の間に壁面四分儀(へきめんしぶんぎ)座という星座があり、ここを中心に流星群が見られたためその名が残されているのです。流星群の軌道角度が大きいので4日以外はほとんど見られない、期間限定のピンポイント流星群です。当たり年なら1時間あたり100個を超える流星が見られます。

もう一つは、10月8日前後見られる“ジャコビニ流星群”で、ジャコビニ-チンナー彗星に由来するものです。放射点は竜の頭に当たる四辺形の並びを中心に流れます。この彗星は6.5年周期で回っていますが、13年ごとに地球に近づき、条件がよければ大出現することもあります。1933年はヨーロッパで1分間に1000個以上見られたと伝えられていて、近年では1998年に、1時間あたり数100個の流星が見られたとのこと。この流星群も“しぶんぎ座流星群”と同様ピークの時間が短く数時間しか見られません。



流星群以外では、竜の頭と北極星を結ぶ線上にあるNGC6543という星雲です。これは寿命を終えた星の残骸で、燃えかす(ガス)が吹き飛ばされ

広がっている姿です。見た目の形が猫の目のように見えるところから“キャッツアイ星雲”と呼ばれています。望遠鏡で見ると、青白い小さな楕円形の姿が見られます。

「Mystars通信」の天文図はStellaNavigator9(AstroArts)を使用しています

綺羅星列伝

今回は数年前にいただいた2遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお願ひします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : TOMOKI-NAKAGAWA-1996
NAMI-NAKAGAWA-1997

上の子が産まれた時、実父がプレゼントしてくれました。又、今回年子で子供が産まれ実父がプレゼントしてくれました。実父はどんな想いでおくってくれたのでしょうか？

今となればわかるような気がします。

私の父は秋になったばかりのある日にたおれて、手術を受けました。開いた結果、大腸ガンでした。何もしてあげられないという思いからなのだと思います。

私は長い間父にずいぶん反発していました。結婚してからやっと仲なおりができ、何でも話すようになった矢先に父の病気でした。父はガンだとはわからなくても十数年体調をくずしていましたので何もしてやれないからせめて何か残るものをと送ってくれたんだと思います。2人の孫が丈夫に育つようにと・・・

そんな父の気持ちに今とても感謝しています。反面反発していた自分がとてもはずかしいです。子供を持って初めてわかる親の苦労ですね。本当に・・・

父も母もこういうふう私を育ててくれたんだと思うと気持ちがとてもせつないです。私の子供に私が願う事は、この広い宇宙のような心と光輝く星のようなやさしさで人をいたわってゆける大人になってほしい。この子達の社会は今の社会より住みにくいと思うのです。その中でしっかりと自分の道をまよわず進めるように育ててほしい。

それと、たくさんの星の中に名前をつけてくれた初山別のみなさんその手配をしてくれた父の事もわすれないでほしい。

自分達がいつか星を見上げた時におじいちゃんの事を思いだして素敵な自分にしかないプレゼントをくれたおじいちゃんを思いだしてあげてください。

貴方達がつらい時、必ずおじいちゃんが見守ってくれていますから

中川友輝
七海 様

母 君子



星の名前 : M & M's Special Star

周からX'masプレゼントとして「星」をもらってちょうど1週間が過ぎました。そうです、今日は1998年1月1日です。

周からのプレゼントはいつもいつもビックリさせられてばかりです。恵の部屋に飾られた絵の数々。通帳、指輪。CDも。どれもこれも人から頂くプレゼントとは違っていて...。いつも感動と感激の連続です。うれしくてうれしくて誰かに聞いてほしくなるんだけど、恵の感動がすべて上手に伝えられないせいで、せっかくの「大切なもの」が安っぽくちっぽけなものになってしまいそうな気がして。だから、たいがい自分の中で感動して喜んでこの気持ちを大事に大事に保管します。

このプレゼントもまたまたビックリでした。だって星でしょ。空を見上げていつも輝いているあの星でしょ。その無数の星の中に自分達の名前が付けられたものが光ってるなんて...早く見てみたい。

知り合って一緒にいるようになって4年目ですね。本当にいろんなコトがありました。いろんな人を傷付けたり、自分達も傷付け合ったり。何度も逃げ出したいと思いました。何度も泣いて苦しんでもうダメだと思うことがよくありました。でも、こうやって心のこもったプレゼントや言葉に支えられて一緒にいたいと思いました。

今思えばこんな恋愛は2度とできないと思います。お互い若かったのかもしれませんが。あの日のケンカも別れ話も。でも、おかげで、周のことをたくさん知ることができました。理解することができました。だって周の一番のよき理解者だ！って、今なら自信持って言えるから。

いつかこの星を2人で見に行きたいですね。絶対行こうね
私達の星に願いを込めて...

2人の愛が永遠に続きますように...

M & M's Special Star この星がいつまでも
輝いていますように...

恵



こちら情報室

天文情報（6月～11月）

流星・彗星

ペルセウス座流星群（7/20～8/20）

夏に最も見やすい流星群で、活発なのは夏休み真っ最中の8月10日から15日ころです。ピークは12日の夜から13日明け方にかけてで、1時間当たり50個以上見られます。今年は満月近い月があるため多くは期待できませんが、明るい流星も多いので月明かりがあっても見やすいほうです。月を背にするとか建物の陰に隠すとかすれば見やすくなります。

みずがめ座流星群（7/20～8月30日）

この流星群はいくつもの流星群からなる複雑な流星群です。放射点はみずがめ座に4つ、やぎ座に1つありますが、みずがめ座全体から出るような感じです。流星数はそれほど多くなく、1時間当たり10個も流れれば多いほうです。割合ゆっくりとした流星で、高速のペルセウス座群とは対照的です。

オリオン座流星群（10/10～11/5）

ハレー彗星のチリによる流星群で、ピークは10月22日です。オリオン座とふたご座の間に放射点があり、ペルセウス座群に似た速くて青白い流星が見られます。ハレー彗星がもどってくるまであと48年もありますが、数年前には突然活発な活動が見られました。今年は月明かりもなく良好です。

しし座流星群（11/5～25）

2000年前後に大出現で話題になった流星群です。母天体のテンペル-タットル彗星も遠ざかり、あまり話題にもならなくなってきましたが、18日の未明に見られます。流星数は1時間当たり10個以下になっていますが、まだまだ明るい流星も多いので注目してみましよう。

彗星を見よう

パンスターズ彗星ア（2012K1）

9月から10月にかけて、明け方の空で5等級になる見込みです。彗星はあまり期待しすぎるとがっかりすることもあります（昨年アイソン彗星のように）。

日食・月食・星食

土星食：9月28日の正午過ぎに、土星が月に隠される土星食が見られます。土星は正午過ぎに月の暗い側から入り、13時過ぎに明るい縁から出てきます。ただ、昼間の土星は大変見にくいので困難かと思われます。南南東の空にある月を見つけ、望遠鏡でよく探せば淡い土星が見えるかもしれません。

皆既月食：10月8日の日没後、月が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が全国で見ら

れます。欠け初めが18時14分で、終了が21時34分と時間帯もよいので是非ご覧ください。月が出てから欠け始めるので全経過が見られます。

惑 星

水星：7月13日と11月1日は明け方の東空で、9月22日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

金星：今年は太陽の近くにあるためしばらく休みです。

火星：地球に最接近から時間が経って少し遠くなりますが、大きな望遠鏡なら模様も見えますでしょう。

木星：7月25日に太陽の向こう側（合）になりしばらく休みです。

土星：9月上旬まで夕方の空で見られます。

天王星：10月8日に衝（地球に最接近）です。

海王星：8月30日に衝です。天王星ととても遠いのでよく見えません。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号9228までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたく願います。

~~~~~

## [編集後記]

昨年はアイソン彗星が大々的にもてはやされ大騒ぎでしたが、予想通り？明るくはなりませんでした。それどころか太陽に近すぎて蒸発してしまいましたね。彗星の予想の難しさを痛感させられた事例でした。

この冬は大雪に悩まされたところが多かったようですね。特に2月の大雪は関東から西日本で交通が大混乱しましたね。編）もたまたま高松市に行っていて、道路が閉鎖されるわ、列車が遅れるわで大変でした。3月には予想外の晴天続きで忙しい？思いをしました^^。  
( K )

|           |                                                                                                            |                             |                    |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------|
| 編集・発行     | しょさんべつ天文台                                                                                                  | 〒078-4431                   | 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7 |
| 天文台ホームページ | URL= <a href="http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/">http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/</a> |                             |                    |
| E-Mail    | 教育委員会                                                                                                      | shkyoiku@saturn.plala.or.jp |                    |
|           | しょさんべつ天文台                                                                                                  | tenmon@aurens.or.jp         |                    |